

# 海外視察 水族館など訪問

## 昨年度 5市会

\* 2013年度に海外視察をした市議会と訪問先

議会名	訪問先	日程	人数	1人あたりの費用(万円)
さいたま	米ピッツバーグ 市、カナダ・ナ イモ市など	10/28~11/4	7	82.4
川越	仏オータムン 市、シャルト ル市	11/3~8	7	58.0
熊谷	中国広東省・中 山市、広州市	3/20~23	5	12.5
戸田	豪リパプール 市、シドニー	10/16~21	6	42.2
狭山	韓国・統営市 など	10/30~11/1	3	6.8

# 費用相場より割高も

県内40市議会のうち、さいたま、川越、熊谷、戸田、狭山の5市議会が昨年度、公費を使った海外視察を行ったことが読売新聞の調査でわかった。中には「友好都市訪問」という名目で水族館や動物園を訪れていた市議会もあった。この訪問が政策にどのように反映され、どのような効果があったかは不明で、税金の使い方が問われている。

## 公費検証

戸田市議5人と議会事務局長を務める市職員の計6人は昨年10月、友好都市の豪・リパプール市などを6

日間の日程で訪問。目的は2011年の東日本大震災以降中断されている両市の中学生派遣の再開だった。参加した市議や行程表によると、6人は現地でもリパプール市長と懇談。戸田市の放射性物質の数値が原発事故後も変わっていないことなどを説明し、派遣の早期再開を要請したという。

この日はゴミ処理場や退職者向けの福祉施設、図書館などを巡った。翌日から2日間はシドニー市内を視察。商業施設、自然公園や動物園、水族館に行き、船のクルーズもあった。読売新聞の取材に対し、団長を務めた市議は「戸田から訪問する中学生がどういった場所を過すのか、治安や安全性を把握しておく必要がある。後ろめたいことなど一つもない」と強調した。

費用が相場より高いものもあった。さいたま市議7人が8日間の日程で米・ピッツバーグ市などを訪問し、と場所を想定して旅費を試

た時には、1人当たり約82万円に上った。川越市議会の7人が仏・オータムン市へ出かけた視察では同約58万円だった。観光先進都市の視察が目的だったが、現地での行程は旅行会社に委託していた。

さいたま市議会事務局は「適正に積算し、支出した。豪華な海外視察とは認識していない。ただ、より安くできるのであればそうしたい」とし、川越市議会事務局は「一条例が定める範囲に基づき支給で問題はない。通訳に払う金などもある」と説明している。

東松山市議会は昨年度実施する予定だったが、台風の影響で中止した。

## 取りやめの市会多く

県内では、財政事情が窮迫していることや、市民から理解が得られないことなどを理由に、海外視察を取りやめた市議会が多い。

## 「財政事情」市民理解得られず

各市の議会事務局によると、過去に海外視察をしていないのは北本、新座、和光、ふじみ野、久喜、日高、富士見、朝霞、上尾、加須、坂戸の11市。このほか藤市は「10年以上前から行っていない」としている。残り22市のうち多くは1990年代にやめた。「財政事情を考慮して議会で決めた」（志木市）、「辞退する議員が多くなった」（蓮田市）、「市民から理解が得られない」（吉川市）などを理由に挙げている。

上記は8月13日付の読売新聞で、友好都市訪問の海外視察について触れられています。さて、今週号から文章だけでなく、チラシの組版（レイアウト）も、コスト低減や時間節減のため、私自身が行うことになりました。デザインが少々変わったのはそのためです。文字も大きくなりましたが、分量はほとんど変わっていません。内容の質も下げておりません。今後とも、ご覧になっていただければ、と考えております。

## 【お知らせ】

私のホームページを先週、作成したURLはjunkawamura.jimbo.comになりました。また、「なまはら」のホームページもリニューアルしました。良きレポートをお送りください。お問い合わせは00170-9-386914です。よろしくお願いします。

後とも、ご覧になっていただければ、と考えております。